

主要地方道成田小見川鹿島港線沢バイパス

主要地方道成田小見川鹿島港線は、成田市から香取市を経て茨城県神栖市に至る広域的な幹線道路として、成田国際空港と鹿島臨海工業地帯とを連絡する動脈としての機能を担っています。

しかし、現道（多古町十余三地先から香取市沢地先にかけての区間）は幅員が狭く、勾配が急であるため大型車両のすれ違いが困難であり、交通の流れが妨げられていました。また、歩道もないため周辺住民にとっても危険箇所となっていました。

このため、この区間の交通の流れを改善するとともに、地域にとって安全かつ快適で利便性のある沢バイパスを計画し、整備を進め、平成30年1月22日(月)15時に開通することになりました。

* 沢バイパスの事業概要

- ①事業名称：ふさのくに観光道路ネットワーク事業(広域連携)
- ②開通区間：香取郡多古町十余三～香取市沢 延長L=1.0km
- ③事業期間：平成7年度～平成31年度
- ④事業費：1,900百万円
- ⑤事業主体：千葉県

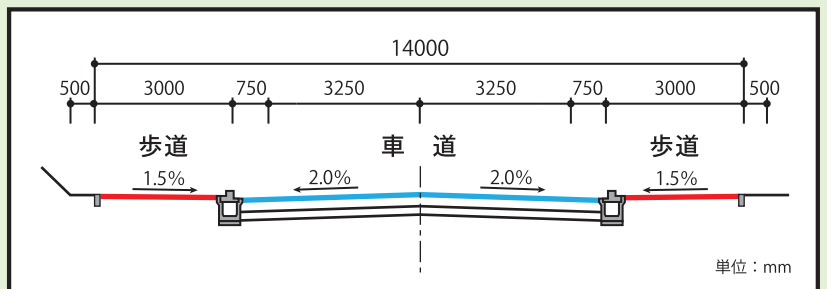


千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

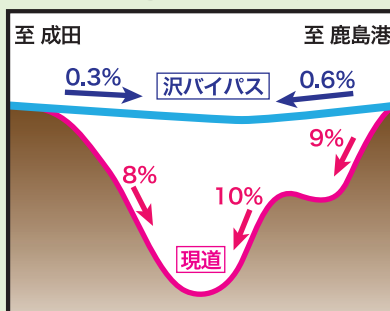
* 位置図



* 標準横断面図



* 道路勾配の比較



* 平面図



沢バイパスの整備効果

現道の特徴・問題点

①車道幅員が狭い上に線形不良のため、大型車のすれ違いが困難であり、交通の流れが悪い。

※12時間交通量約7,100台

資料：平成27年度全国道路・街路交通情報調査「香取市沢での観測値」



②大型車の12時間交通量は、1,200台以上。

資料：平成27年度全国道路・街路交通情報調査「香取市沢での観測値」



③歩道が無い場合、歩行者等の通行が危険。



具体的な整備効果

◎沢バイパスは、^{きょうあい}狭隘・線形不良箇所を回避する新たなルートを確認し、安全で円滑な交通が可能。



◎自動車の走行性が向上することにより、通行量が増え、地域交流が活性化。

◎大型車の通行の利便性が改善。

◎通過交通がバイパスへ転換され、現道の沿道環境が安全・安心なものに改善。

◎沢バイパスの全区間で歩道(幅員3m)が整備され、歩行者等の安全を確保。



千葉県香取土木事務所

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ92-11 電話：0478-52-5191